

中小企業の経営革新と連携組織の活性化を応援する活性化情報誌

Publicity magazine for small and medium-size enterprise
Chushokigyo-chiba

中小企業ちば

Contents [Index]

P.3 活動予定／トピックス

中央会の主な事業等活動予定（8月）

P.4 特集 ～経営のヒント～／トピックス

電子帳簿等保存制度を考える《第一回》他

P.7 全国先進組合事例

各関係団体と連携し、地域社会貢献へ取り組む（徳島ビルメンテナンス協同組合）

P.8 景況

情報連絡員報告を中心とした県内の中小企業動向（令和4年6月期）

P.10 協賛広告

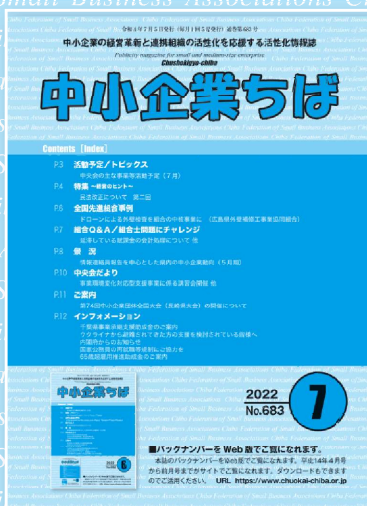
「暑中お見舞い申し上げます」

P.14 インフォメーション

「官民ジョブサイト」の情報提供サービス（内閣府官民人材交流センター）

P.16 中央会だより／トピックス

千葉県中小企業団体中央会第66回通常総会開催
組合運営・企業経営研究会リアル+オンラインで開催



2022
No.684

8

■バックナンバーを Web 版でご覧になれます。

本誌のバックナンバーをWeb版でご覧になれます。平成14年4月号から前月号までがサイトでご覧になれます。ダウンロードもできますので活用ください。 URL <https://www.chuokai-chiba.or.jp>

テーマ

地域の魅力発信開拓

各関係団体と連携し、地域社会貢献へ取り組み

徳島ビルメンテナンス協同組合

組合（役員、組合員、青年部、事務局）が一体となり、目的意識を持ち、主体的に地域社会貢献活動を実施している。

背景・目的

不安定な経済情勢の中、中小企業組合を取り巻く状況が厳しさを増す一方で、中小企業組合は組合員のための共同事業を実施するだけではなく、環境への配慮、地域社会への貢献が求められるなど、社会的責任に対する関心は「層高まりつつある」。そこで、当組合は経営理念の一つである「地球環境への貢献」を念頭に、地域社会の一員であるとの自覚の下、各関係団体と緊密に連携し、「地域と時代が求めるビルメンテナンス」を丹念に追及していくことを目的に、清掃活動等の様々な取り組みを行っている。

当組合は、地域社会貢献への取

取り組みの手法と内容

組みとして昭和55年から毎年社会福祉施設で清掃活動（ボランティア）を行い、令和元年12月の実施で40回目を迎えた。また、徳島県立特別支援学校の生徒の働きたいという思いを企業に知ってもらうことを目的とした「ゆめチャレンジフェア」開催の支援、障がい者技能競技大会である「アベリンピック徳島大会」開催の支援、災害時避難所の衛生確保に向けた県関係機関との連携啓発活動、産業教育支援など、多方面にわたり地域に根付いた各種活動を遂行し、関係団体をはじめ、地域社会に認められる団体として確固たる地位を確立した。さらに、平成29年12月より新たな試みとして、当組合、徳島ビルメンテナンス協会、徳島県、徳島県教育委員会、社会福祉法人徳島県社会福祉事業団の5団体が緊密に連携し、徳島県立特別支援学校の生徒を中心に捉えた「学びと交流と施設快適化

の創造」（5団体と障がい者が社会について共に学びながら交流することと社会福祉施設の快適化を目指すもの・地域社会貢献）を合言葉とする全国に例のない清掃活動を実施している。これらの創意と工夫を加えた実践活動の積み重ねを基盤に、平成30年8月に5団体による「障がい者の就労支援活動に関する協定」の締結に至った。なお、その支援活動の一環として、徳島県立特別支援学校の生徒が就労に向けた多様な経験を積むことができるよう、実際の職場で一定期間働く「就業体験」の場を提供している。

成果とその要因

一番大きな成果としては、各関係団体と障がい者の就労支援活動に関する協定を締結し、これらを着実に推進するため、その都度各関係団体と意見情報交換を行い、これを通じて顔の見える日常性ある関係性を構築したことである。また、新

聞や雑誌に取り上げられることも増え、業界の認知度向上を図ることができた。各組合員が随時、意見情報交換を行うなどして地域を良くしたいという高いモチベーションを保ち、組合が一体となって取り組んでいることが成功の要因と言えるだろう。



障がい児入所施設にて、徳島県立特別支援学校の生徒が当組合員から学びながら清掃活動（左図）



障がい者の就労支援活動に関する協定の締結（右図）

徳島ビルメンテナンス協同組合

住所：〒770-0942
徳島県徳島市昭和町
二丁目56番地
設立：昭和49年2月27日
出資金：21,000千円
URL：—
業種：建物の維持管理事業
組合員：14人